FHFA、企業は集合住宅の寛容を拡大

米連邦住宅金融局（FHFA）は、企業（ファニーメイおよびフレディマック）が適格な集合住宅所有者に提供するCOVID-19の寛容を2021年3月31日まで延長したと発表しました。当初は2020年末に失効する予定でした。

「私たちのコミュニティにCOVID-19が継続的に存在し、賃借人に不釣り合いな影響を与えるため、FHFAは、年末から2021年の第1四半期まで、寛容な集合住宅の提供とテナント保護を拡大します」とFHFAディレクターのマークカラブリアは述べています。リリース。

COVID関連の経済的困難を経験している企業支援の多世帯住宅ローンを持つ不動産所有者は、新規または資格がある場合は修正された寛容契約を結ぶことができますが、不動産所有者の寛容および返済期間中に利用可能なテナント保護について書面でテナントに通知することに同意する必要があります、およびプロパティが寛容である間、家賃の不払いのためだけにテナントを立ち退かせないこと。

テナントの保護には、テナントに少なくとも30日前に退去を通知することが含まれます。賃料の滞納に対して延滞料や罰金をテナントに請求しない。テナントは、必ずしも一括でではなく、長期にわたるバックレントの返済に柔軟性を持たせることができます。賃借人は、これらの保護の対象となるためにCOVID-19関連の困難を示す必要はありません。

「私たちはまだパンデミックの真っ只中にあり、集合住宅市場へのサポートを提供し続けるために、借り手が新しいまたは補足的な寛容協定を要求するための追加の時間を提供しています」とフレディマックの集合住宅の責任者であるデビージェンキンスは述べました。。「私たちの寛容プログラムは、フレディマックマルチファミリーがCOVID-19全体で集合住宅のオペレーターと賃貸人をサポートするために取り組んできた1つの方法にすぎません。安定性、流動性、手頃な価格を提供するためにできることを引き続き行います。」

PROVIDENT TITLE COMPANY

Source: https://www.doddfrankupdate.com/DFU/ArticlesDFU/FHFA-Enterprises-extend-multifamily-forbearance-81142.aspx